

湧き水は生きてゐる水桃洗ふ

大橋佳歩 愛知県立幸田高等学校
第17回 俳句甲子園 最優秀賞(平成26年)

戦後70年、発行1300号特集号



昭和23年10月1日に「松山市弘報」として第1号が発行されてから、今回で1300号を迎えました。戦後の松山の発展とともに歩んできた広報まつやまは、今回を機に、より皆さんに親んでもらえるよう一部リニューアルし、これからの松山の発展とともに歩んでまいります。

松山の発展とともに これからも

光のおもてなし in 松山城



土曜夜市（銀天街）の様子

保存してください。いつかまた お役に立ちます

主な内容

今回は16ページの拡大版です

- 特集 戦後70年特集 2~7面
- 特集 まつやまのココがスキ 8・9面
- 道後温泉活性化フォーラム.....10面
- 市民ガイド..... 11~15面
- 俳句甲子園全国大会... 16面

発行：松山市役所
編集：総合政策部シティプロモーション推進課
毎月1日・15日
☎948-6705 ☎934-2578
http://www.city.matsuyama.ehime.jp/

◆表紙（1面・最終面）のレイアウト変更
表題や目次、コールセン

◆市民ガイドを横書きに
数字やメールアドレスなどが見やすいように見直し

◆「主なリニューアル」
市民ガイドを横書きに
数字やメールアドレスなどが見やすいように見直し

レイアウト変更とともに、読んで面白い新しい企画にもチャレンジしていきますのでご期待ください。

広報まつやま

1300号を機にリニューアル

▶創刊号（表紙）
「広報活動は、市民に対しての周知徹底が基本原則」とうたわれています



●現在 発行部数約24万部、ページ数8〜12ページ

●昭和53年 情報量に応じ8ページでの発行に

●平成13年 文字を拡大

●平成15年 2月15日号を1000号記念特集として16ページで発行

戦後のGHQによる民主化政策の中で、市民に法令や規則など市の行政施策を徹底周知することが、広報紙に求められた役割でした。

【広報まつやまの歴史】

●昭和23年10月1日 松山市弘報創刊号、2色刷り全25ページB5判、3200部発行

●昭和29年 タブロイド版（現在の大きさ）に変わり、2ページで全戸配布、4万5000部発行

●昭和33年 名称が「広報まつやま」に

●昭和35年 4ページに

●昭和44年 市制80周年記念特集号で初めてカラーに

●昭和50年 発行が月2回に、16万3000部発行

広報まつやま

時代とともに変わり続けました